

悲しい背中を 見ないために...



令和6年は、高岡労働基準監督署管内で労働災害により、4名の尊い命が奪われました。

令和7年は、みなさんが「ただいま」と言えるように、裏面の事項の確認をお願いいたします。

 厚生労働省

富山労働局 高岡労働基準監督署

令和6年の労働災害の主な傾向

- ・ 転倒災害が最も多い
- ・ 次いで僅差で墜落災害が多く、起因物は「はしご」、「トラック」によるものが多い
- ・ 製造業における労働災害の被災者の約2割が外国人労働者



みなさんの「ただいま」のために、上記傾向等を踏まえ、以下の確認をお願いいたします。

事業主のみなさまへ

- ・ 定常作業および非定常作業を把握していますか？
- ・ 労働災害防止のためのリスクアセスメント結果に基づく作業標準を決めていますか？
- ・ あるべき作業場・通路の安全な状態を労働者と共有していますか？
- ・ SAFEアワード受賞企業の取組を参考にして、転倒しにくい身体づくりのための運動プログラム等を導入していますか？
- ・ 外国人労働者に対し、わかりやすい教材を使用して教育を行っていますか？
- ・ 機械トラブルに対して、「止める・呼ぶ・待つ」を呼びかけていますか？

参考

SAFEアワードについてはこちら



労働者のみなさまへ

- ・ 会社が策定した作業標準を遵守していますか？
- ・ 作業場・通路を整理整頓していますか？
- ・ 機械トラブルに対して、「止める・呼ぶ・待つ」を遵守していますか？
- ・ 非定常作業について、指示を仰がずに独断で作業を行っていますか？
- ・ はしごの上部または下部を固定して使用していますか？